

台風21号の教訓を徹底的に生かせ

土運船漂流の再発防止を 12月定例会で一般質問



■西宮市議会12月定例会で一般質問するかの

私は平成30年12月6日、西宮市議会12月定例会で一般質問をしました。平成30年9月4日に本市に襲来した台風21号の被害を教訓にした防災対策の強化について質問しました。石井登志郎市長ら市幹部が答弁しました。Ⅱ2面に関連記事

台風21号通過中の9月4日午後3時ごろ、人工島の甲子園浜のすぐ東側の海上で、土運船が阪神高速5号湾岸線の側道である県道芦屋鳴尾浜線の鳴尾橋に衝突しました。これによって鳴尾橋の橋げたが約40センチずれ、兵庫県は側道の甲子園浜―鳴尾浜間約1.3キロを通行止めしました。県は損傷した橋げたを補強し、12月10日から東向き一方通行による暫定供用を

西宮市議会議員

かの雅一

まさかず



■阪神高速5号湾岸線の側道の鳴尾橋周辺＝甲子園浜

始めました。今年秋ごろを目標に本格復旧による全面通行を目指しており、新しい橋げたを製作し、海上作業で付け替える計画を進めています。

神戸海上保安部によりますと、土運船は西宮港内で錨をおろして停泊していましたが、台風21号による強風などで錨を下ろしたまま船が流される走錨によって漂流した可能性が高いとしています。

県によりますと、発生当時、台風21号からの避難のため西宮市と尼崎市、芦屋市の港内で錨を降ろして停泊していた土運船などの船舶は届け出があった分だけで計17隻。県はもっと多くの船舶が届け出なしに停泊した可能性もあるとしています。

※土運船とは 浅瀬船や陸上積出基地などから土砂を受け入れ、運搬する作業船。自船の推進装置により航行する自航式と自らは航行できない非自航式があります。

南海トラフ地震では防潮堤破壊の危険性も

専門家からはこれまでも土運船の漂流が大きな危険をもたらすことについて警鐘が鳴らされてきました。例えば、南海トラフ巨大地震に伴う津波が押し寄せた場合、漂流した土運船が防潮堤に衝突して破壊し、そこから大量の海水が入り込んで広範囲に浸水する危険性が指摘されています。

私は一般質問でこうした状況を踏まえて、「今回の事態を招いたということは、これまでの専門家の指摘が全く生かされていなかったと言わざるをえない」と強調。「県と神戸海上保安部に対して原因究明と再発防止策の策定を要望すべきだ」と訴えました。

これに対し、市は「9月14日に港湾管理者である県に対して、土運船など船舶への対策や指導を徹底するよう要望書を作成し、市長自ら県の副知事と面談し、直接説明のうえ、提出した」と答弁しました。

西宮市政報告

かんの新聞

第15号

年4回発行

ジャーナリストの視点で調べる・伝える



元産経新聞記者 保守系無所属

行財政改革を積極推進》来年度に基本方針策定

行政の肥大化を阻止 石井登志郎市長が表明

インタビュー 第2弾



■石井登志郎市長＝平成30年12月25日、西宮市役所

私は平成30年12月25日、西宮市役所で石井登志郎市長へのインタビュー第2弾を行いました。石井市長は「今後、財政状況が厳しくなる」と指摘し、行財政改革に積極的に取り組む意向を表明。平成31年度中に行財政改革の基本方針を策定する意向を明らかにしました。

この中で、石井市長は本市の今後の財政について「人口減少が進み、これまでにない超高齢社会を迎える。社会保障関係経費が伸びることに加え、公共施設の老朽化対策のため、経費の増大が見込まれる」と述べ、厳しいとの見通しを示しました。

そのうえで、財政構造の弾力性を示す本市の経常収支比率が平成28年度決算から2年連続して悪化したことを深刻に受け止めている

との認識を示しました。「硬直化する財政構造の体質改善に向け、収支改善などの取り組みを強化する必要がある」と述べました。

行財政改革の取り組みとしては「市職員が一丸となって取り組みを進めるための環境整備が重要」と述べ、全庁的な推進体制を構築することの重要性を強調。「庁内での議論や調整を行い、早い時期に議会にも骨子となる考え方を示し、平成31年度に基本方針を策定したい」と述べました。

現在、3946人の市職員の定数について、「私が市長を務めている間は行政の肥大化ととられかねない定数増はしない」と述べ、行政の肥大化を阻止する姿勢を強調。「外部のアドバイザーの意見を取り入れ、効果的な行政運営と質の高い行政サービスの実現を図りたい」と述べ、外部人材も積極的に活用する姿勢を示しました。

公共施設用地として活用予定のない市有地については「民間事業者とも連携しながら、売却や貸付による財源確保に努める」との方針を明らかにしました。

お待ちしています!!

定期送付のご案内

西宮市政についての疑問や意見をぜひお聞かせください。かんの雅一が問題を丹念に取材しうえ、わかりやすく説明します。

地元の集まりや趣味の会合などで市政の現状について聴きたい場合もご連絡ください。かんのが出向いて市政報告をします。



西宮市政報告「かんの新聞」は年間4回、発行し、南甲子園地区(市立南甲子園小学校の校区など)と周辺地域を中心に各戸配布し、西宮市内に配達する産経新聞朝刊に折り込みとして入れます。それ以外の方、ビラ配布禁止の集合住宅にお住まいの方、確実に入手したい方には定期的に送付します。下記●印の必要事項を記載いただき、お申し込みください。市政へのご意見、ご要望や「かんの新聞」のご感想もお書きいただければ、うれしいです。「かんの新聞」のバックナンバーをご希望の方もご連絡ください。

●「定期送付希望」●郵便番号●ご住所●お名前●生年月日●ご連絡先電話番号●メールアドレス

はがき宛先 〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101 FAX・メールでのお申し込みは 本紙最下段に記載の宛先まで

言葉の解説

指定管理者制度とは何？

地方公共団体が設置した公の施設の管理運営を民間事業者などの法人や団体に任せる制度。民間活力によって住民サービスの向上や経費の節減を図ることが目的。それまで公の施設の管理運営は地方公共団体や第三セクターなど公共の団体に限定されていましたが、平成15年の地方自治法改正で導入されました。西宮市では平成30年度、体育館やホール、市民館、留守家庭児童育成センター(学童保育)など計276施設で採用しています。



本名:菅野 雅一(かんの・まさかず)

昭和33年(1958年)、神戸市生まれ。上智大学文学部新聞学科を卒業。産経新聞社では姫路支局、岡山総局、社会部、政治部、経済部、タリフジ、総合企画室に勤務。政治家を志し平成27年1月に退社。同年4月の市議選で初当選。保守系で政党無所属。「会派・ぜんしん」メンバー。南甲子園自治会副会長。NPO法人海浜の自然環境を守る会副理事長。社会福祉法人真砂ちどり保育園理事長。防災士。

次号は今年5月の発行予定です

かんの雅一事務所

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101

TEL:090-1895-1488 FAX:0798-40-9530

《MAIL》info@kannomasakazu.com

●詳しい政策はホームページへ www.kannomasakazu.com

かんの雅一 検索

住民運動で尽力の関係者集う

甲子園浜で銘板設置を祝う会
鳥獣保護区指定40周年記念

かんの
コラム
15

甲子園浜が鳥獣保護法に基づく国の「浜甲子園鳥獣保護区」に指定されて平成30年11月で40年を迎えたことを記念して、NPO法人海浜の自然環境を守る会と甲子園地区埋立事業対策協議会が甲子園浜の自然や、兵庫県の埋め立て計画から甲子園浜を守った住民運動などを紹介した銘板を市に寄贈しました。

銘板は甲子園浜の防潮堤に設置され、守る会と協議会は12月2日、銘板設置を祝う会を開催しました。銘板を囲んで関係者で記念撮影。甲子園浜を埋め立てる県の計画に反対するため、地元住民らが結成した「甲子園浜の埋立を考える会」のメンバーだった方々の話を市立甲子園浜自然環境センターで聞きました。

甲子園浜は大阪湾に残る数少ない自然海岸で、干潟にはシギやチドリなどの多くの渡り鳥が飛来しています。

考える会は昭和50年に結成。51年、鳥獣保護区の指定を求める請願を国会に提出し、衆参両院で可決。53年11月、鳥獣保護区に指定されました。埋め立て問題は住民と県との訴訟になりましたが、57年、和解が西宮市の仲介で成立し、自然海岸が守られました。

干潟は、野鳥の楽園

考える会の発起人の1人だった東山直美さんは「良質な生活環境や教育環境を無視する埋め立て計画に怒りを感じ、市立南甲子園小学校のPTAの母親たちが子どもたちを公害から守ろうと立ち上がった」と当時を振り返りました。「生物調査を実施し、甲子園浜の干潟に野鳥の餌となるさまざまな生物が生息しており、『野鳥の楽園』であることがよくわかった」と語りました。

住民運動の事務局を務めた大幡矩子さんは「一党一派に偏らず、主婦らしい活動をすることを心がけた。皆で深夜まで資料作りをしたり、運動を妨害されるなどの苦労もあった。和解が成立するころには、市の関係者も活動に共鳴していただくようになり、うれしかった」と語りました。



■兵庫県の甲子園浜埋立計画に反対する住民運動で尽力した方々
＝平成30年12月2日

甲子園浜のゴルフ練習場の用地

当面は営業継続へ

多目的グラウンドを整備の方針

人工島の甲子園浜で営業中のゴルフ練習場「アコーディア・ガーデン甲子園浜」の土地約5・6ヘクタールについて、西宮市はサッカーやグラウンドゴルフ、ラグビーなどに利用できる多目的グラウンドを含む公園として整備する方針を固めました。

この土地は市が昭和60年、下水処理場の拡張用地として西宮市土地開発公社に兵庫県企業庁から購入させた約13ヘクタールの一部。その後、市の下水処理計画が変更になったため、不要になりました。このため、公社はゴルフ練習場の用地として練習場の経営会社と年間約1億円の賃料で10年間の賃貸借契約を結びました。この契約が今年7月で満了になります。

この土地は公社に先行取得させた経緯があるため、市は近い将来、購入する必要がある、購入後の利用方法を検討。①本市の臨海部に位置する貴重な土地であり、広く市民が利用できるものが望ましい②サッカーなどに利用できる多目的グラウンドについて市民のニーズが



■ゴルフ練習場のアコーディア・ガーデン甲子園浜＝甲子園浜

土地の取得費54億円が財政圧迫の危険性

市は土地の取得費について総額約54億円に達するとしています。これに加え、公園などの整備費として約16億円を見込んでいます。このため、公園整備の財源として国の交付金を受けることを検討するとともに、市債の発行で財政負担の軽減と平準化に努めたいとしています。しかし、市の財政を圧迫する要因になることを懸念する声も出ています。

市内の14病院が停電
支援方法を協議

市立中央病院を含めた市内の14病院が台風21号のため停電になりました。私は「保健所をもつ自治体として市内の各病院の停電対策の取り組みを把握し、対策の強化を求め、市としての支援策を策定すべきだ」と主張しました。

マンションの非常用給水栓について周知を

台風21号では、停電になったマンションなどの集合住宅でポンプが作動しなくなり、断水になりました。私は「集合住宅には電気を必要とせず、停電時にも利用できる非常用給水栓がある。これを事前に周知していれば、多くの住民が不便に感じることはなかったと思う」と訴えました。



■西宮市立中央病院の非常用発電機＝林田町

市は「停電時の状況について市内の全病院と透析及び産科医療機関に対する調査を実施した。関係機関などで構成する会合で停電時の医療体制の課題を整理し、支援方法を協議する」と答弁しました。

市立中央病院では、約9時間にわたり停電しました。しかし、平成29年に更新した非常用発電機が作動し、手術を含めた医療行為を続けることができました。私は「市立中央病院で停電によって判明した課題は何か」と質問しました。

市は「停電が長時間に及ぶ場合、非常用発電機への給油が必要だが、交通渋滞で重油を積載した車両の到着が予定よりも遅れた。停電の復旧時期に関する情報も入手できなかった」と説明し、対策を強化する方針を示しました。

今年の大型連休は10日連続

行政窓口や医療機関、保育所などにご注意を

（ごみの収集は通常通り）

皇太子さまが新天皇に即位される5月1日が祝日になることに伴い、今年的大型連休は4月27日から5月6日までの10連休という異例の長期休暇になり、ほとんどの行政窓口は休みになります。4月28日からの9日間は多くの医療機関が外来の診察を休み、ほとんどの認可保育所も休園になります。

10連休中、出生届や婚姻届、死亡届などは西宮市の本庁や各支所の時間外窓口で受け付けます。アクタ西宮西館5階のアクタ西宮ステーション（北口町）の窓口は10連休中、通常の土日、祝日と同じ午前9時から午後7時まで開いています。住民票の写しや印鑑登録証明書などはマイナンバーカードなどを使って主要なコンビニエンスストアの多機能端末機でも取得できます。

比較的小児科の救急患
者で徒歩やマイカーで来院可能な人のための休日の医療拠点はJR西宮駅近くの西宮市応急診療所（池田町）です。内科と小児科があり、昨年末から今年初めにかけての6連休では計2145人が診察を受けました。

西宮市応急診療所の受付時間	
4月27日	午後5時～午後11時15分
4月28日～5月6日	午前9時～午後1時45分 午後5時～午後11時15分



■西宮市応急診療所＝池田町

外科と産婦人科を中心にした在宅当番医制度もあります。歯科診療については西宮歯科総合福祉センター（甲子園洲鳥町）で受け付けます。市民からの電話相談は健康医療相談ハローにしのみや（フリーダイヤル0120・86・2438）で毎日、24時間体制で受け付けています。

市は「市民の不安を解消するため、大型連休中の医療体制について市政ニュースや市のホームページなどで十分に情報を提供していきます。持病をお持ちの方は大型連休前に主治医と相談してください」と呼びかけています。

市内の認可保育所については、休日保育実施園以外は4月28日からの9日間、休園になります。市は大型連休中のごみ収集について通常通り土日以外を行うことにしています。